文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。（用言の活用）(4)

可能動詞

「……できる」という意味を含む動詞を**可能動詞**という。可能動詞には次のようなものがある。

・五段活用の動詞が変化してできた、「……することができる」という意味を表す下一段活用の動詞

（例）話す → 話せる
聞く → 聞ける
書く → 書ける
読む → 読める

・動詞「できる」（上一段活用）

可能動詞はそれだけで一つの単語なので注意する。また、可能動詞には命令形はない。

「……できる」の表現

上一段・下一段・カ変の動詞には可能動詞がなく、可能の意味を表すときは助動詞「られる」を使う。

（例）見る→見られる（助動詞）　出る→出られる（助動詞）　来る→来られる（助動詞）

五段活用の動詞で可能の意味を表すときは可能動詞にすることが多いが、助動詞「れる」を使うこともある。

（例）行く→行ける（可能動詞）　行く→行かれる（助動詞）

形容動詞の見分け方

●「……だ」

・形容動詞の終止形

活用があるので、連体形「……な」の形にできる。

（例）ここは静かだ。→「静かな」○

副詞「とても」で修飾できる。

（例）ここは平和だ。→ ここは ○とても 平和だ。

・名詞＋断定の助動詞「だ」

「……な」の形にできない。

（例）彼は中学生だ。→「中学生な」×

副詞「とても」で修飾できない。

（例）私の願いは世界の平和だ。
→ 私の願いは世界の ×とても 平和だ。

●「……な」

・形容動詞の連体形

活用があるので、終止形「……だ」の形にできる。

（例）静かな湖。→「静かだ」○

・連体詞

活用がないので、「……だ」の形にはできない。

（例）大きな湖。→「大きだ」×

確認テスト

(1) 例に従って、次の①～④の動詞が五段活用の動詞なら可能動詞を答えなさい。また、五段活用以外の動詞なら助動詞「られる」を付けた形を答えなさい。

（例）話す→〔話せる〕　見る→〔見られる〕

① 言う〔　　　〕

② 来る〔　　　〕

③ 走る〔　　　〕

④ 起きる〔　　　〕

(2) 次の中から、――線部が可能動詞であるものを二つ選びなさい。

ア 何も話せない。　**イ** 何も話さない

ウ これで書きます。　**エ** これで書けます。

〔　　・　　〕

(3) 次の中から、――線部が形容動詞であるものを二つ選びなさい。

ア あれは私の学校だ。　**イ** あの人はいつも親切だ。

ウ そう考えるのが自然だ。　**エ** この町の魅力（みりょく）は郊外の自然だ。

〔　　・　　〕

(4) 次の①～④の――線部が、形容詞なら**ア**、形容動詞なら**イ**、その他なら**ウ**で、それぞれ答えなさい。

① 小さい模様。〔　　〕　② 小さな模様。〔　　〕

③ 細かい模様。〔　　〕　④ 細かな模様。〔　　〕